



04

組合概要 2010年9月現在

設立	1975年（昭和50年）5月
職員数	22人
代表者	松崎 秀雄
所在地	〒890-0062 鹿児島県鹿児島市 与次郎二丁目7-25

鹿児島県コンクリート製品協同組合

事業概要：コンクリート二次製品の製造・販売
シラスを細骨材としてコンクリート製品製造
主要製品：落蓋側溝及び蓋版、歩車道境界ブロック
自由勾配側溝及び蓋版
他道路用並びに水路用側溝

連絡先	TEL.099-255-2511 FAX.099-259-2840 kouno@infratec.co.jp http://kcon-pro.or.jp/index.html
-----	---



コンクリートの細骨材である川砂、海砂は環境問題の観点から採取が困難になってきています。組合においては地域にある豊富なシラスを有効活用して製品化できないか検討を行いました。環境に配慮した新しい製品の開発を行い地域産業の創出に役立たせることを目的に研究及び事業化を進めました。



シラスコンクリート落蓋側溝

製品紹介

B・落蓋側溝Ⅱ型 【シラス】

鹿児島県コンクリート製品協同組合はコンクリート製品を提供して地域の道路整備、側溝整備等の公共資産に関わる商品を提供しています。特に鹿児島に発生するシラスを有効活用する目的で製品開発を行いました。今回、砂の代用品としてシラスを入れて「落蓋側溝Ⅱ型」を製作しました。

これから鹿児島の道路用側溝として活用されることを期待しています。

セールスポイント 砂の代用品としてシラス100%利用

シラス土壌は南九州の4000km²に及ぶ広大な範囲に分布し、鹿児島県の総面積の約半分を覆っています。シラスの層厚は140mに達するものもありその量は150km³と推測されています。

しかし、時としてこのシラス土壌が大きな災害を招いているのが現状であります。鹿児島では永年に亘ってシラスの研究が大学などの研究機関でなされています。

今回、鹿児島県からシラスを利用した製品化の要請もあることから、この困難な材料をコンクリートの骨材として環境に配慮した新しい製品の開発を行いたいと考えました。



シラスコンクリート落蓋側溝施工状況

理事長からのメッセージ

三位一体による開発

今回、鹿児島県、鹿児島大学など関係各位のご協力により、鹿児島県に豊富に存在するシラスをコンクリートの細骨材として利用した落蓋側溝の開発を行うことができました。今までシラスにつきましては、様々な産業にて有効活用がなされており、本組合といたしましても、数年の開発期間を経て、ようやく新たな製品としてご提供することが可能となりました。今までの普通コンクリート製品に対して、何ら遜色のない製品でありますので、ご愛顧のほど宜しくお願いします。



代表者
松崎 秀雄さん

表彰・選定

- ・シラスコンクリート歩車道境界ブロック出荷状況 1550トン (2009年)
- ・平成21年度中小企業活路開拓事業での開発商品
- ・九州経済産業局長表彰（鹿児島県中小企業団体中央会創立55周年記念式典）

ここが
自慢!

- ・鹿児島県土木部が平成20年度下期からシラスコンクリート歩車道境界ブロックを正式採用
- ・鹿児島県土木部が平成22年度下期からシラスコンクリート落蓋側溝を正式採用



シラスコンクリート落蓋側溝セット状況

開発した製品は製作し易いシンプルな形状に拘り、手間のかからないものにしました。地域の企業の何処でも製作でき、品質が一定で安定した製品を提供する考えです。

より安全で安心できる地域づくりと資産を長期に維持していくことで貢献したいと思えます。

開発された側溝はバリアフリータイプで蓋版のガタツキはなく騒音の問題は解消されます。

維持管理は容易で水路の機能はJIS型側溝と同等の機能を有しています。

今後の
目標

シラス製品の 販路拡大

鹿児島県土木部以外の県発注先並びに市町村における正式採用を目指します。

シラス採取から運搬、製造の流通をスムーズにして関係者が採算の取れる事業展開を考えます。

また、細骨材の代替品だけではなくシラスの特性を活かした製品用途も行いたいと思えます。

特に地域活性化に貢献できるような事業展開を目指します。

会社案内図

